

## 日本教育大学協会理事会を開催

日本教育大学協会理事会が5月11日（金）、東京の学士会館で開催された。

理事会では、村松泰子会長（東京学芸大学長）が冒頭あいさつを行い、はじめに「教大協規約を改正し審議機関のスリム化を図った。今回はスリム化した理事会の第1回目であり実質的な議論ができると思う。」と新たな理事会に対する抱負を述べた。また今年度予算について触れ「教大協加盟大学・学部を取り巻く状況については、多々混沌とした部分があるが、文部科学省に当初予算についてかなり確保していただき、さらに国立大学改革強化推進事業予算を確保いただいた。」と文部科学省に対し謝辞を述べた。教育政策の状況にも触れ「第2期教育振興基本計画に教員養成制度改革の話を盛り込むと伺っている。資料としては現段階のものが入っていると思うが今後も注目していただきたい。教大協としては、今年度も臨時に動いていただかなければならないこともあると思うのでご協力をお願いしたい。」と述べた。

引き続き文部科学省高等教育局池田貴城大学振興課長から、①中教審大学分科会における審議状況等について、②省内大学改革タスクフォースでのこれまでの検討状況について、③平成24年度予算について、④子ども・子育て新システムについて、⑤大学入試センター試験について、続いて、初等中等教育局藤原章夫教職員課長から、中教審教員の資質能力向上特別部会の審議状況について、教育課程課大金伸光教育課程企画室長から、新学習指導要領の改訂の趣旨・内容等について、特別支援教育課横井理夫特別支援教育企画官から、障害者制度改革に係る教育分野の主要課題について説明があり、それぞれ活発な意見交換が行われた。

文部科学省説明後は、はじめに①会長の選出、②副会長及び監事の選出が行われ、会長として引き続き村松会長を選出、副会長及び監事をそれぞれ決定した。その後、各委員会等の報告に続き、様々な課題について審議が行われ、平成23年度決算書（案）、平成24年度事業計画（案）、平成24年度予算（案）について承認された。



村松会長



池田大学振興課長



藤原教職員課長



大金教育課程企画室長

横井特別支援教育企画官



文部科学省の説明に熱心に聞き入る各理事